

診察室から こんにちは

ながまつレディースクリニック

(産科・婦人科・小児科)

永松 晃

872-3788

南海本線鳥取ノ荘駅前(阪南市)

<http://www.rinku.zaq.ne.jp/nagamatsu>

よく聞かれる質問にお答えします。

Q. 18歳学生です。生理痛が毎月あり、鎮痛薬をのんでいます。また、生理が不順で、遅れたり、早まったり、試験や旅行、プールなどの事を考えると困っています。でも、産婦人科に行くのは、なんとなく恥ずかしいので、悩んでいます。

A. 生理痛、生理不順等は、婦人科に来院されるかたの理由で多いのですが、気軽に相談ください。問診(いままでの状態を聞くこと)、お腹からのエコー、MRI撮影、採血を組み合わせることににより、

婦人科特有の内診はしなくてもすみますし、もしなんらかの病変があっても、発見することができます。



治療法も、3ヶ月ぐらいのホルモン剤の服用で、生理痛がなくなったという方がほとんどです。また、ホルモン剤が合わない方には、注射や漢方薬、自律神経を整えるお薬等があり、よくお話をさせてもらって、その方にあつた治療法をさせていただきます。

Q. 60歳の主婦です。50歳ぐらいで、生理はあがったのですが最近、不正出血があります。検診に行こうかどうか迷っています。

A. ぜひ、検診をお受けになってください。膣炎や、良性のポリープ

尿道カルンケル(良性のできもの)、といったものがほとんどですが、悪性の場合もあります。

先日、81歳の方が、不正出血で来院され、調べてみると初期の子宮ガンでした。元気な方で、今の毎日の暮らしが楽しい。友達と旅行にいたり、ガーデニングが好きなもので、治療はしたくないと、いつておられました。家族のかたもお呼びして、お話のうえ和歌山医大の梅咲教授のもとで、治療を受けていただきました。退院されたあと、ご本人から、



お礼の電話をいただきました。治療を受けて、また長生きができるとのこと。81歳のかたでさえそうなので、すから、まして、60歳で、手遅れにならないようにしてください。検診をお受けになって、安心してください。対策は、必ずあります。勇気をお出しになってください。